

道央自動車道  
アオサギ橋撤去設計

特 記 仕 様 書

令和 7 年 8 月

東日本高速道路株式会社  
北 海 道 支 社

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

- 1-1-1 調査等名 道央自動車道 アオサギ橋撤去設計
- 1-1-2 道 路 名 道央自動車道
- 1-1-3 履行箇所 自) 北海道岩見沢市駒園 (岩見沢 I C)  
至) 北海道空知郡奈井江町字奈井江 (奈井江砂川 I C)

### 1-1-4 橋梁形式

橋梁名	橋梁形式	橋長	備考
モズ橋	変形斜材付 $\pi$ 型ラーメン橋	44.640m	跨道橋撤去設計
アオサギ橋	P C 斜材付変形 $\pi$ 型ラーメン橋	45.540m	跨道橋撤去設計
茶志内歩道橋	P C 単純 H 桁橋	38.520m	跨道橋撤去設計

### 1-1-5 主な履行内容

項目	数量	備考
現地踏査	1 式	
跨道橋撤去設計	3 橋	A (モズ橋) B (アオサギ橋) C (茶志内歩道橋)
設計打合せ	1 式	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

### 1-3 監督員等に関する事項

#### 1-3-1 監督員と所掌範囲

本工事の監督員と所掌範囲は次のとおりとする。

監督員	所掌範囲
札幌管理事務所	道央自動車道 岩見沢 I C ~ 美唄 I C
旭川管理事務所	道央自動車道 美唄 I C ~ 奈井江砂川 I C
保全課長	道央自動車道 岩見沢 I C ~ 奈井江砂川 I C

### 1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内(業務完了期限までの間)で、受注者が業務の始期(業務着手日)及び終期(業務完了日)を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余

裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（別紙1-1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から390日間まで

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から90日間まで

#### 1-5 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1-12-4「テクリスへの登録」（1）の規定によらず、以下のとおりとする。

（1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

#### 1-6 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1「資料の貸与」に示す貸与資料の一覧は以下に示すとおりとする。なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合は、別途監督員と協議するものとする。また、設計を行うため資料の復元等を要する場合は、監督員と協議し定めるものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
工事完成図面	モズ橋、アオサギ橋、 茶志内歩道橋の工事完成図面	契約締結の日の翌日より 7日以内	紙及び電子データ(TIFF データ)
建設時設計成果品	モズ橋、アオサギ橋、 茶志内歩道橋の設計成果品	契約締結の日の翌日より 7日以内	

#### 1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者又は監督員が行う協議で本調査等業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は、下表のとおりとする。なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って、行う協議以外である。また、本調査等業務の検討・設計内容に応じて必要な協議の有無及び完了予定時期を変更する場合がある。

下記協議は、当該設計の内容に応じて関係者等と協議することとしているため、協議等の進捗状況を監督員に適宜確認するものとする。

##### （1）道路関係

位置	路線名	管理者名	必要協議	協議完了 予定時期
モズ橋	-（法定外道路）	岩見沢市	モズ橋撤去に係る道路管理者間協議を実施	令和8年8月 ～10月
アオサギ橋	-（法定外道路）	岩見沢市	アオサギ橋撤去に係る道路管理者間協議を実施	令和8年8月 ～10月
茶志内歩道橋	-（法定外道路）	美唄市	茶志内歩道橋撤去に係る道路管理者間協議を実施	令和8年8月 ～10月

##### （2）規制関係

位置	路線名	管理者名	必要協議	協議完了 予定時期
全線	道央自動車道	北海道警察本部交通部 高速道路交通警察隊	交通規制等協議	令和8年8月 ～10月

### (3) 電力・通信施設関係

位置	路線名	管理者名	必要協議	協議完了 予定時期
岩見沢 IC～ 奈井江砂川 IC	光通信ケーブル	KDDI(株) 東日本高速道路(株)	施工時の制約範囲確認、移設等 検討協議	令和8年8月 ～10月
	メタル通信ケーブル・電源ケーブル	東日本高速道路(株)		令和8年8月 ～10月

### (4) その他

受注者は、上記以外の本工事に係る施設等を発見したときは、監督員に通知し、監督員の指示に従わなければならない。

## 1-8 計画工程表

### 1-8-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1-1-4-1「作業計画書の提出」に示す作業計画書の計画工程表（本特記仕様書様式-1）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

受注者は、完了時期の明示にあたって、発注者または監督員が行う協議や共通仕様書 1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、計画工程表に記載するものとする。また、共通仕様書 1-9-4「照査計画の作成」に定める照査計画を盛り込むこととする。

なお、作業単位の設定は、次を標準とするが、計画工程表の提出にあたって監督員と受注者との協議のうえ決定するものとする。

工種	作業単位	備考
現地踏査	現地踏査	
跨道橋撤去設計	設計条件の整理	A（モズ橋） B（アオサギ橋） C（茶志内歩道橋）
	上部工撤去工法の比較検討設計	
	下部工撤去工法の比較検討設計	
	施工機械選定及び配置	
	仮設構造物の検討設計	
	撤去構造物の運搬方法の検討	
	附帯構造物等の復旧設計	
	支障物等の撤去・復旧方法の検討設計	
	交通規制計画	
	施工工程及びタイムスケジュールの作成	
	報告書の作成	
	数量及び概算工事費の算出	
	図面作成	
設計打合せ	設計打合せ	

### 1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2-2「打合せ」の実施時に、計画工程表に作業の実施状況を記載し、監督員に報告するとともに、調査等打合簿（共通仕様書 様式第 1-4 号）に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-3-1-1「事前協議」に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。

## 1-9 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-2-2「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿（共通仕様書様式第 1-4 号）を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

清書した打合簿は、電子メールによる伝達とし、受注者は受領欄に押印したうえで、発議者に電子メールでの返送のうえ、保管するものとする。

### 1-10 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-44-1「工事記録情報」の規定に従って、「工事記録収集システム」へのデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」を監督員に提出し、その後入力データの照査を受け、「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。また、照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い、速やかに修正を行うものとする。

工事記録収集システムに関する問い合わせ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

### 1-11 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下、「予定工事」という。）において、監督員及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に係わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議（以下、「三者協議会」という。）」を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員、予定工事の受注者および受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定する協定書によるものとする。なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

### 1-12 調査等打合簿への概略業務量の提示

- (1) 業務の進捗に伴い、業務内容の追加や変更に係る打合せが行われ、発注者から概略業務量の提出を求められた場合、受注者は当該業務内容に応じた適正な概略業務量（技師 B 換算の人工数と期間）を「調査等打合簿」へ記載し発注者へ提出するものとする。なお、提出を求める概略業務量は、調査等積算基準に定めのない業務とする。
- (2) 提出された概略業務量は、変更契約額・変更履行期間を拘束するものではなく、見積審査の参考に活用する等、適正な変更契約に向けた参考資料として位置付けるものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 設計条件

#### 2-1-1 道央自動車道及び跨道橋の諸元

##### (1) 本線（岩見沢 IC～奈井江砂川 IC）

- 1) 道路規格 : 第1種 第2級 B規格
- 2) 設計速度 :  $V = 100 \text{ km/h}$
- 3) 車線数 : 完成4車線（片側2車線）
- 4) 上下区分 : 上下線
- 5) 平均日交通量 : 約16,000台（令和6年 岩見沢 IC～三笠 IC間）  
: 約14,000台（令和6年 美唄 IC～奈井江砂川 IC間）

##### (2) 跨道路橋 モズ橋（管理者：岩見沢市）

- 1) 道路規格 : -（法定外道路）
- 2) 橋位置 : 岩見沢 IC～三笠 IC（N34.103KP）
- 3) 型式 : 変形斜材付π型ラーメン橋
- 4) 橋長（桁長） : 44.64m（44.60m）
- 5) 支間（m） : 8.75 + 27.10 + 8.75
- 6) 有効幅員（斜角） : 6.00m（90°00'00"）

##### (3) 跨道路橋 アオザキ橋（管理者：岩見沢市）

- 1) 道路規格 : -（法定外道路）
- 2) 橋位置 : 岩見沢 IC～三笠 IC（N34.410KP）
- 3) 型式 : PC斜材付変形π型ラーメン橋
- 4) 橋長（桁長） : 45.54m（45.50m）
- 5) 支間（m） : 8.65 + 28.20 + 8.65
- 6) 有効幅員（斜角） : 8.00m（90°00'00"）

(4) 跨道路橋 茶志内歩道橋（管理者：美唄市）

- 1) 道路規格 : - (法定外道路)
- 2) 橋位置 : 美唄 IC～奈井江砂川 IC (N56.839KP)
- 3) 型式 : PC単純H桁橋
- 4) 橋長 (桁長) : 38.52m (38.48m)、階段部 14.82m (14.80m)
- 5) 支間 (m) : 30.60+7.45、階段部 7.20+7.60
- 6) 有効幅員 (斜角) : 1.50m (90°00'00")

2-1-2 撤去構造物の処分

撤去構造物等については、すべて再資源化施設等へ運搬し処分するものとし設計する。

2-1-3 交通規制条件

道央自動車道 岩見沢 IC～奈井江砂川 IC間の交通規制条件は下記のとおりとする。

(1) 車線規制、路肩規制

- ・規制可能時間は、日の出～日没までを基本とする。
- ・施工上必要な場合は、交通安全対策を講じることで、昼夜連続車線規制を実施できるものとする。

(2) 通行止め規制

- ・通行止め規制可能時間は、22時～翌5時までを基本とする。(事前車線規制の設置撤去を除く)

(3) 対面通行規制

- ・施工上必要な場合で、安全・円滑で適切な施工、工期等の短縮や経費の節減等が図られる場合は、交通安全対策を講じることで、対面通行規制を実施できるものとする。

(4) 交通規制の抑制期間

交通規制の計画にあたっては、下記の抑制期間を回避した計画を基本とする。

- ・土日祝日
- ・4月下旬～5月上旬 (GW交通混雑期)
- ・8月上旬～8月中旬 (夏期交通混雑期)
- ・12月1日～翌年3月31日 (冬季休止期間)

2-2 業務の概要

本業務は、モズ橋、アオサギ橋、茶志内歩道橋の3橋の撤去設計を行う業務である。設計にあたっては、共通仕様書5-2-1「適用すべき諸基準」及び5-7-4「詳細設計」に従うものとする。

2-3 現地踏査

受注者は、契約締結後速やかに現地を踏査し、当該設計に必要な現地状況等の基本的事項を把握するものとする。なお、監督員から貸与する資料と現地状況に相違がある場合は、速やかに監督員に報告するものとする。現地踏査の検測数量は、1式とする。

2-4 跨道橋撤去設計

跨道橋撤去設計とは、下記の項目及び監督員の指示に従って、跨道橋 (モズ橋、アオサギ橋、茶志内歩道橋) 撤去について、検討及び設計を行うことをいう。

(1) 設計条件の整理

当設計に必要な資料の収集・整理を行い、跨道橋撤去の設計方法を計画するものとする。なお、主たる設計の開始に先立って、その計画について監督員と協議しなければならない。

(2) 上部工撤去工法の比較検討設計

上部工の撤去工法については、本特記仕様書2-4(4)～(6)、(10)の検討及び設計内容と合わせて、安全性、施工性及び経済性等より、上部工の撤去工法を検討し設計するものとする。

(3) 下部工撤去工法の比較検討設計

下部工の撤去工法については、本特記仕様書2-4(4)～(6)、(10)の検討及び設計内容と合わせて、安全性、施工性及び経済性等より、下部工の撤去工法を検討し設計するものとする。

する。

(4) 施工機械選定及び配置

本特記仕様書 1-6、2-4 (1)～(3)、(5)～(9)をもとに、跨道橋撤去及び撤去構造物の仮置き場での小割作業に必要となる機械選定及び配置を検討するものとする。機械配置場所における敷き鉄板、仮設重機足場等の設置計画についても本検討設計項目に含むものとする。なお、機械配置計画により支障となる既設道路付属物がある場合は、本特記仕様書 2-4 (8)にて検討及び設計するものとする。使用する機械の運搬・移動経路及び設置場所に橋梁、函渠等の既設構造物がある場合は、既設構造物の安全性照査について必要性の有無について確認するものとし、安全性照査が必要な場合は監督員に報告しその指示に従うものとする。監督員が安全性照査の実施を指示した場合の費用については、監督員と別途協議するものとする。

(5) 仮設構造物の検討設計

本特記仕様書 1-6、2-4 (1)～(4)、(6)～(9)をもとに、ベント、作業足場等の規模、配置について検討するものとする。なお、仮設構造物の設置により既設道路付属物が支障となる場合は、本特記仕様書 2-4 (8)にて検討及び設計するものとする。

(6) 撤去構造物の運搬方法の検討

撤去した跨道橋部材を本特記仕様書 2-1 の設計条件のもと、仮置き場までの運搬方法、仮置き場からの搬出方法について、各法令基準、施工時間及び既設構造への影響を考慮し運搬機械を選定するものとする。また、仮置き場が使用できないケースについても検討し計画するものとする。運搬経路に橋梁、函渠等の既設構造物がある場合は、既設構造物の安全性照査について必要性の有無について確認するものとする。安全性照査が必要な場合は、監督員に報告し、その指示に従うものとする。安全性照査の実施を監督員が指示した場合の費用については、監督員と別途協議するものとする。

(7) 附帯構造物等の復旧設計

跨道橋撤去後の附帯構造物（立入防止柵の設置、のり面の整形又はのり面保護工、用・排水構造物）の設計を行うものとする。

(8) 支障物等の撤去・復旧方法の検討設計

跨道橋撤去の施工にあたり、支障となる既設道路付属物の確認を行い、跨道橋撤去の施工に支障となる場合は、支障物の撤去又は移設、撤去又は移設後の仮設備及び跨道橋撤去工施工後の復旧について設計を行う。

(9) 交通規制計画

跨道橋撤去を実施するために必要となる交通規制については、一般交通への影響を最小限にとどめる計画となるよう交通規制計画を立案するものとする。交通規制条件については、本特記仕様書 2-1-3 のとおりとする。渋滞予測が必要な場合は、交通規制計画案をもとに、監督員に依頼するものとする。対面通行規制が必要となった場合は、上下線を連絡する渡り線の設置位置の検討を行うものとする。渡り線の設計の実施については、監督員と協議するものとする。監督員が渡り線の設計を指示した場合の費用については、監督員と別途協議するものとする。

(10) 施工工程及びタイムスケジュールの作成

本特記仕様書 2-4 (1)～(9) の検討及び設計結果をもとに施工工程表、通行止め規制時のタイムスケジュール及び施工ステップ図を作成するものとする。施工ステップ図には、交通規制計画図も含めるものとする。

(11) 報告書の作成

本特記仕様書 2-4 (1)～(10) の各項目において検討及び設計した結果の選定根拠、設計施工上の問題点について取りまとめるものとする。

(12) 数量及び概算工事費の算出

跨道橋撤去工事の施工、積算に必要な項目について数量を算出するとともに、概算工事費を算出するものとする。

(13) 図面作成

跨道橋撤去工事の施工、積算に必要なすべての図面を作成するものとする。設計図面の範囲及び内容は、下表のとおりとする。

図面の種別		図面の内容
平面図		管理用平面図に施工内容を示す
一般図		
詳細図	跨道橋撤去工図	撤去時のブロック割りを示す
	施工機械配置図	施工機械の配置、機械配置ヤード図
	仮設設備図	ベント、作業足場の詳細図
	その他詳細図	本特記仕様書 2-4 (7)、(8) に係る全ての詳細図

※施工ステップ図は、本特記仕様書 2-4 (10) にて作成する。

## 2-5 設計打合せ

設計打合せは、下記のとおり行うものとする。

- (1) 業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- (2) 打合せ場所は、東日本高速道路株式会社 北海道支社 札幌管理事務所で行うものとする。  
ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- (3) 打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め、5回とする。なお、当初打合せは現地踏査に含むものとし、別途支払は行わない。
- (4) 打合せ回数の増減に伴う費用は、別途監督員と協議し定めるものとする。
- (5) 打合せ方式について、対面式からオンライン方式に変更となった場合の費用については、別途監督員と受注者として協議し定めるものとする。

## 2-6 電算機使用料

電算機使用料とは、本特記仕様 2-4 「跨道橋撤去設計」に必要な電算機使用料をいう。内訳の項目の区分は下表のとおりとする。

内訳書の項目	数量	備考
跨道橋撤去設計 電算機使用料	1 式	モズ橋、アオサギ橋、茶志内歩道橋

## 2-7 交通費・宿泊費

交通費・宿泊費には、設計打合せ及び現地踏査に必要な交通費・宿泊費を含むものとし、設計項目箇所及び数量が増減しても、交通費・宿泊費の変更は行わないものとする。なお、打合せが対面式からオンライン方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者として協議し定めるものとする。

## 2-8 成果品

### 2-8-1 成果品一覧

本業務に関する成果品については、次のとおりとする。

また、報告書（紙）の表紙は、黄色、黒文字製本とする。

設計種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺	出力用紙の大きさ	尺度	提出部数	摘要
跨道橋撤去設計	設計報告書	－	A4	－	2	
	数量計算書	－	A4	－		
	施工工程表	－	A3	－		
	通行止め時タイムスケジュール	－	A3	－		
	施工ステップ図	－	A3	－		
	平面図	－	A3	－		
	一般図	－	A3	－		
	跨道橋撤去工図	－	A3	－		
	施工機械配置図	－	A3	－		
	仮設設備図	－	A3	－		
	その他詳細図	－	A3	－		



### 第3章 補足事項

#### 3-1 設計図書の変更及び追加について

下記に示す事項については、関連する事項の業務内容を変更または追加する場合があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。この場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

- (1) 既設構造物の撤去範囲の変更
- (2) 既設構造物の撤去に必要な土留め工設計の追加
- (3) 関係機関との協議に伴う図面の追加
- (4) 光通信ケーブル等の移設設計の追加

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）  
支社長（所長） 殿

会社名  
代表者

履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

（3-2. 受注者が設定した業務の終期）

以 上

●●自動車道 ○○設計 設計工程表

【様式-1】

1 設計業務

(履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

項 目	日 程	計画準備	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考
			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 設計計画																														
2. 既存資料の確認・整理		資料の有無																												
①地形図 (1/1000, 1/500)		有 ・ 無																												
②実測縦断面図		有 ・ 無																												
③実測横断面図		有 ・ 無																												
④縦横計算書		有 ・ 無																												
⑤概略設計成果品		有 ・ 無																												
⑥協議用図面作成成果品		有 ・ 無																												
⑦幅員設計成果品		有 ・ 無																												
⑧土地調査結果報告書		有 ・ 無																												
⑨縦断・トンネルの成果品		有 ・ 無																												
⑩関連事業計画資料		有 ・ 無																												
⑪詳細測量図 (1/200)		有 ・ 無																												
⑫設計協議資料		有 ・ 無																												
3. 現地調査																														
4. 設計条件の整理																														
5. 道路詳細設計																														
①縦断設計																														
②平面図面作成		・ 路線図・平面図・線形図・夜間除雪求積図																												
③縦断面作成																														
④横断面作成																														
⑤土構築作成																														
⑥排水設計																														
6. 排水工設計																														
①溝渠工設計		・ ボックスカルバート、パイプカルバート等																												
②縦壁工設計																														
③詳細図作成																														
④図面修正		・ 平面図・縦断面図等																												
7. 数量計算																														
8. 概略施工計画																														
9. 施工への送り事項																														
10. 照 査																														
11. 報告書作成																														
12. 審査員による成果品確認																														
13. 電子成果品作成																														
14. 設計訂合せ																														
15. 業務検査																														

2 関連業務資料

日 月 年	実施の有無	実施時期	実施会社名	04			05			06			07			08			09			10			11			12			備 考
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
1. 測量調査																															
・ 基準点測量	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
・ 空中写真測量	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
・ 数値地形測量	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
2. 道路予備設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
3. 道路概略設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
4. 路線測量	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
5. 地質調査（1次）	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
6. 構造物計画設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
7. 地質調査（2次）	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
8. 地質調査	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
9. 協議用図面作成	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
10. トンネル設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
11. 幅員設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
12. 用地幅員設置測量	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
13. 構造物基本設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
14. 構造物詳細設計	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													
15. 地盤補足調査	有 ・ 無	04年03月 ～ 04年03月																													

3 関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
① 交通管理者協議																															
道路	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
河川	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
鉄道	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
用水路	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
排水路	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
水渠	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
下水道	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
電力	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
電話	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
② 形式協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
③ 警察協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
④ 地元協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												
⑤ その他関係事項協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																												

4 その他関係事項

項目	実施の有無	実施時期	対応者	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
①○○に關する技術の検討	有・無	○●●○月 ～ ○●●○月	受注者																												
②○○に關する技術的判断	有・無	○●●○月 ～ ○●●○月	受注者 ※注者																												